等しい関係を表す式

例1．１冊ａ円のノート２冊と、１本ｂ円の鉛筆３本を買ったときの代金が 330 円であることは、等号＝を使って　□ａ＋□ｂ＝□　と表せる。

・上のように、数量の等しい関係を等号を使って表した式を□という。

・等式では、等号の左側にある式を□、右側にある式を□といい、これらを合わせて□という。

例２．　次の数量の間の関係を、等式で表せ。

⑴　１個 80 円のパンをａ個と、１本 130 円の飲み物をｂ本買ったところ、代金が 920 円であった。

⑵ ある数 x を５倍して７をたすと、ｙになった。

⑶ 400 ページの本を１日につきａページずつ x 日間読んだところ、ｙページ残った。

⑷．最初、姉はａ円、妹はｂ円持っていた。姉が妹に 200 円わたしたところ、２人の持っている金額は同じになった。このことを等式で表せ。

⑸．兄は鉛筆をａ本、弟は鉛筆をｂ本持っている。兄が弟に４本わたすと、兄の持つ本数は、弟の持つ本数のちょうど２倍になる。このことを等式で表せ。

⑹１枚ａ円の絵はがきを 10 枚買おうとした所、500 円ではｂ円たらなかった。このことを等式で表せ。

⑺ 長さ xｃｍのひもから１本ｙｃｍのひもを３本切り取ったところ、４ｃｍ残った。

⑻ 長さ xｃｍのひもからｙｃｍのひもを１本切り取ろうとしたところ、４ｃｍたりなかった。